

**2024年度 関西四大学  
「薬物に関する意識調査」集計結果 報告書**

**関西大学・関西学院大学・同志社大学・立命館大学**

## 2024年度 関西四大学「薬物に関する意識調査」報告書 巻頭言

これまで、大学生の大麻等不正薬物の所持・乱用による事件事故が相次いで発生し、薬物汚染が大きな社会問題に発展しました。こうした状況の下で、各大学における薬物に関する教育活動が喫緊の課題となり、2009年3月7日に関西四大学は、薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、より広い視点に立ち、安全・安心の社会を実現するための教育・研究、そして社会的な活動を大学の使命ととらえ、薬物乱用防止のための恒常的・経常的かつ組織的な啓発活動を行い、広く社会に向けてその活動を展開していくことを宣言しました。

その具体策として、共同のアクションプランを企画し、共同声明の発表以降、3つのアクション「委員会の開催・設置」、「教育・調査活動」、「広報活動」を柱に各大学で様々な取り組みを実施してきました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催してきました。

こうした活動の一つとして、2009年10月から関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を開始し、同調査も今年度で16年目を迎えます。

現在の日本における薬物乱用に関する社会情勢について、警察庁組織犯罪対策部発表の「令和5年における組織犯罪の情勢（第2章：薬物・銃器情勢）」によると、薬物事犯の検挙人員は、近年横ばいで推移し、令和4年に減少傾向がみられたところ、令和5年は1万3,330人（前年比+1,188人、+9.8%）と前年より増加し、大麻事犯の検挙人員は、平成26年以降増加傾向が続いていたところ、令和5年は6,482人（前年比+1,140人、+21.3%）と過去最多となりました。また、29歳以下の検挙者数が全体の73.6%を占め、また、20歳未満の検挙者数は1,222人となり、2019年（令和元年）の609人から5年間で倍増しています。これらのデータから見ても、引き続き若年層への薬物乱用防止の啓発活動が重要であることは明白です。

大麻販売の組織化・巧妙化が進み、例えばSNS上では絵文字や隠語を使って大麻や大麻成分入り薬物や食品などを売買するWebサイトが現れるなど、販売ルートは多様化しており、大麻や危険ドラッグ等を入手することが容易になっています。また、昨今では市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）が問題になるなど、若年層の薬物乱用問題に関する動向について引き続き注視する必要があります。

私たちは、関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を今後も継続して実施することにより、啓発しながらも学生の薬物に対する意識と態度等、若年層における薬物事情の変遷を明らかにし、さらなる薬物乱用防止策の企画立案に役立てるだけでなく、社会に対して警鐘を鳴らすことができるのではないかと考えています。

今回も、大学入学前の中学・高校等における啓発活動の成果も反映させるべく、関西四大学の入学直後の新入生を対象にアンケート調査を実施しました。その結果、新入生が大学入学以前から薬物乱用防止に関する教育を受け、さまざまな形で薬物についての情報に接している一方で、引き続き、ごく少数であるが薬物に接触する危険性がこれまで同様に存在していることが明らかになりました。

関西四大学では、2009年10月から続くこの調査結果について、真摯に受けとめ、今後さらに慎重に検討を加え、引き続き薬物乱用防止のための教育活動を展開していきます。加えて、他の教育機関や行政機関の諸活動においても今回の調査結果が役立つことを願っています。

2024年10月

関西大学学長 高橋 智幸

関西学院大学学長 森 康俊

同志社大学学長 小原 克博

立命館大学学長 仲谷 善雄

## I 調査対象

対象者数	: 2024年度入学生 27,471名(関西四大学合計人数)
実施期間	: 各大学により定められた期間(2024年4~5月)
調査方法	: WEBアンケート
回答数(率)	: 22,315名(81.2%)

## II 集計結果

各質問への回答状況は、次ページ以降のグラフ及び集計表のとおりである。

主な回答の集計結果について

◇質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つ選択)

<回答>	2024年度	参考値
非常に関心がある	5.5%	2023年度との比較+0.6ポイント
ある程度関心がある	30.6%	2023年度との比較-0.1ポイント
どちらともいえない	27.5%	2023年度との比較-0.8ポイント
あまり関心がない	15.1%	2023年度との比較-0.2ポイント
ほとんど関心がない	21.2%	2023年度との比較+0.5ポイント

「非常に関心がある」と「ほとんど関心がない」それぞれの比率が前年比較で+0.5~0.6ポイント増加しており、「どちらともいえない」層の学生を除いた「関心がある」層と「関心がない」層の間で関心の2極化が進行している。

◇質問2 あなたは、以下の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可)

<回答>	2024年度	参考値
有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	74.5%	2023年度との比較-0.7ポイント
覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	84.8%	2023年度との比較-1.4ポイント
大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)	91.2%	2023年度との比較-1.2ポイント
コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	79.4%	2023年度との比較-1.5ポイント
あへん類(ヘロインなど)	58.5%	2023年度との比較-2.0ポイント
LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	20.8%	2023年度との比較-0.2ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	56.1%	2023年度との比較-7.3ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	56.2%	2023年度との比較-5.8ポイント
大麻入り食品(大麻グミなど)	63.6%	
知っているものはない	4.4%	2023年度との比較+0.4ポイント

全体的に前年と比較し薬物の認知度が低下している傾向にあるが、依然としてほとんどの薬物名について過半数の学生が認知している。今年度より「大麻入り食品(大麻グミなど)」の回答を新設したが、“全体で”5番目となる認知度であることが分かった。

◇質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択)

<回答>	2024年度	参考値
どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	89.1%	2023年度との比較-0.3ポイント
1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	1.0%	2023年度との比較+0.3ポイント
他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	8.1%	2023年度との比較-0.3ポイント

昨年度同様「どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない」という回答が最も多かったが、「1回位ならかまわない」「使うかどうかは個人の自由」と考えている学生も依然として一定数存在しており、「1回位ならかまわない」という回答は増加した。

◇質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりする  
ことが、これまでにありましたか。(1つ選択)

<回答>	2024年度	参考値
誘われたり、勧められたことはない	93.0%	2023年度との比較-0.5 ポイント
購入を勧められたことがある	0.5%	2023年度との比較+0.0 ポイント
使用を誘われたことがある	1.1%	2023年度との比較+0.2 ポイント
無理やり使わされたことがある	0.3%	2023年度との比較+0.0 ポイント
わからない	5.2%	2023年度との比較+0.3 ポイント

「誘われたり、勧められたことはない」という回答が最も多いが、「購入を勧められた」「使用を誘われた」「無理やり使わされた」と回答した学生も少数ながら存在しており、「使用を誘われたことがある」回答については増加した。

◇質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つ  
選択)

<回答>	2024年度	参考値
いない	88.8%	2023年度との比較-0.4 ポイント
いる(いた)	3.3%	2023年度との比較+0.0 ポイント
わからない	7.9%	2023年度との比較+0.4 ポイント

「いない」という回答が最も多いが、「いる(いた)」との回答は減少しておらず、薬物の所持・使用の可能性が、学生の身近にあることをうかがわせる。

◇質問15(イ) 【質問15(ア)で「2 いる(いた)」に○をつけた人だけお答えください】  
どの薬物でしたか。(複数選択可)

<回答>	2024年度	参考値
有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	5.9%	2023年度との比較-2.5 ポイント
覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	12.0%	2023年度との比較+0.6 ポイント
大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)	50.4%	2023年度との比較-0.4 ポイント
コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	6.3%	2023年度との比較+2.0 ポイント
あへん類(ヘロインなど)	1.7%	2023年度との比較+0.2 ポイント
LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	4.4%	2023年度との比較+1.1 ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	5.0%	2023年度との比較+0.4 ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	4.3%	2023年度との比較-0.6 ポイント
大麻入り食品(大麻グミなど)	6.1%	
わからない	29.8%	2023年度との比較-4.0 ポイント
未回答	1.9%	

所持もしくは使用している薬物について、前年と比較し全体的に増加しており、とくにコカインについては2.2ポイント増加している。

◇質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可)

<回答>	2024年度	参考値
警察の相談窓口	37.5%	2023年度との比較+1.5 ポイント
行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	13.5%	2023年度との比較+0.8 ポイント
厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	8.9%	2023年度との比較+0.4 ポイント
医療機関の相談窓口	12.4%	2023年度との比較-0.1 ポイント
民間の支援団体の相談窓口	8.6%	2023年度との比較+0.1 ポイント
知らない	53.6%	2023年度との比較-1.9 ポイント

警察と並んで行政機関や医療機関が窓口として認知されている。また、「知らない」と回答した学生は減少しており、相談窓口が認知されはじめていると考えられる。

◇質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数選択可)

<回答>	2024年度	参考値
薬物乱用による健康被害情報	61.2%	2023年度との比較+0.0 ポイント
薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	40.8%	2023年度との比較-1.1 ポイント
国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	14.8%	2023年度との比較-0.5 ポイント
医療機関や民間支援団体の取り組み情報	13.6%	2023年度との比較-0.9 ポイント
特になし	20.9%	2023年度との比較+0.2 ポイント

従来と大きな変化はなく、健康被害や事件・事故事例の情報提供への関心が高い。薬物関連の相談窓口(質問17)の内容とともに、このような情報発信は引き続き重要だと考えられる。

◇質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つ選択)

<回答>	2024年度	参考値
不可能だ	39.1%	2023年度との比較-0.1 ポイント
かなり難しい	23.2%	2023年度との比較+1.5 ポイント
難しいが手に入る	25.8%	2023年度との比較-1.6 ポイント
手に入る	11.8%	2023年度との比較+0.2 ポイント

「不可能だ」「かなり難しい」を併せた傾向は増加しているが、「手に入る」と回答した学生も増加傾向にある。

◇質問19(イ) 【質問19(ア)で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」に○をつけた人だけお答えください】入手可能と考えた理由はなんですか。(複数選択可)

<回答>	2024年度	参考値
SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから	80.7%	2023年度との比較-0.1 ポイント
SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから	9.5%	2023年度との比較+0.4 ポイント
友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから	7.7%	2023年度との比較+0.1 ポイント
繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから	19.0%	2023年度との比較-1.5 ポイント
それ以外	3.4%	2023年度との比較-0.2 ポイント
未回答	1.5%	

「SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから」、「SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから」、「友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから」という回答が増加しており、一方「繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから」という回答は減少した。身近さや手軽さが薬物入手のハードルを下げている状況にある。

◇質問20 あなたは、医薬品医療機器等法により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になっていることを知っていますか。(1つ選択)

<回答>	2024年度	参考値
知っている	71.1%	2023年度との比較-0.1 ポイント
知らなかった	28.9%	2023年度との比較+0.1 ポイント

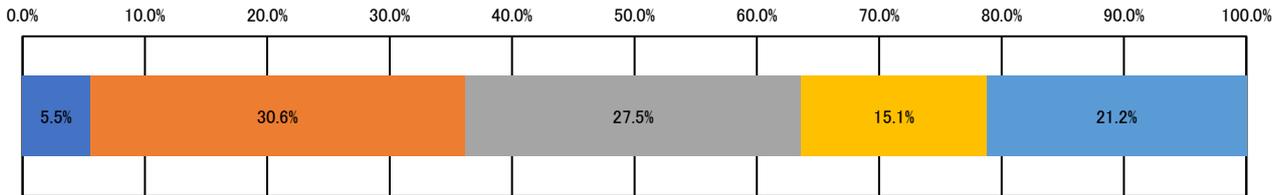
危険ドラッグに対する罰則の認知度は昨年と比べやや減少傾向となっており、引き続き危険ドラッグに対する正しい知識を更に啓発していく必要があると考える。

◇質問21 あなたは、「市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)」が社会問題になっていることを知っていますか。(1つ選択)「市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)」とは、市販薬(かぜ薬・解熱剤・鎮痛剤・睡眠薬など)を定められた用法・用量以上に服用する(過剰摂取)することで、薬物への依存が高まるだけでなく、内臓機能障害や最悪の場合は心肺停止で死亡するケースもある、薬物乱用の一種です。

<回答>	2024年度	参考値
知っている	78.5%	
知らなかった	21.5%	

オーバードーズに対する認知度は全体的に高い傾向にある。小学生の救急搬送事例や、高校生の60人に1人が市販薬の乱用経験あり、といった調査結果もあるだけに、大学でも啓発を進めていく必要がある。

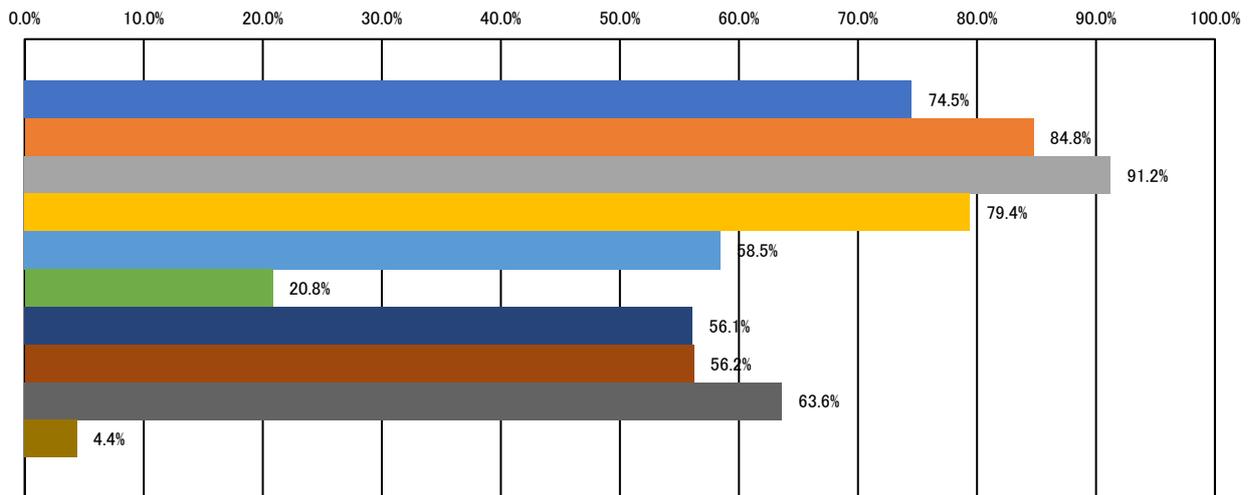
共通質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。  
(1つ選択)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	非常に興味がある	1,232	5.5%
2	ある程度関心がある	6,836	30.6%
3	どちらともいえない	6,132	27.5%
4	あまり関心がない	3,375	15.1%
5	ほとんど関心がない	4,740	21.2%
6	不明	0	0.0%
	合計	22,315	100.0%

■非常に興味がある ■ある程度関心がある ■どちらともいえない ■あまり関心がない ■ほとんど関心がない

共通質問2 あなたは、以下の薬物の名前を知っていますか。  
(複数選択可)

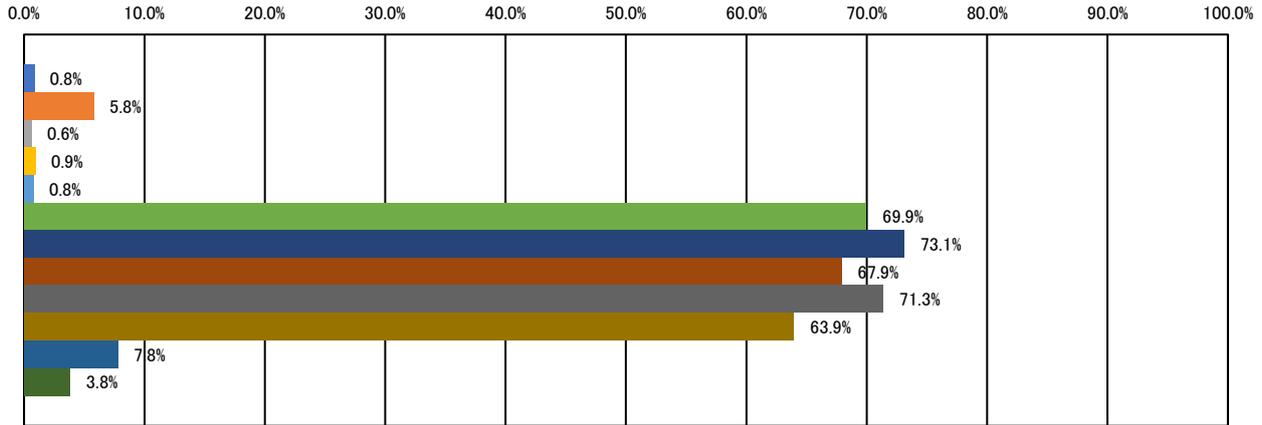


No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	16,629	74.5%
2	覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	18,918	84.8%
3	大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)	20,358	91.2%
4	コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	17,719	79.4%
5	あへん類(ヘロインなど)	13,044	58.5%
6	LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	4,652	20.8%
7	MDMA(エクスタシーなど)	12,522	56.1%
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	12,547	56.2%
9	大麻入り食品(大麻グミなど)	14,201	63.6%
10	知っているものはない	982	4.4%
	合計	22,315	100.0%

■有機溶剤(シンナー、トルエンなど) ■覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど) ■大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)  
 ■コカイン(コーク、スノウ、クラックなど) ■あへん類(ヘロインなど) ■LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)  
 ■MDMA(エクスタシーなど) ■いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど) ■大麻入り食品(大麻グミなど)  
 ■知っているものはない

【前の質問であげた薬物についてお聞きします】

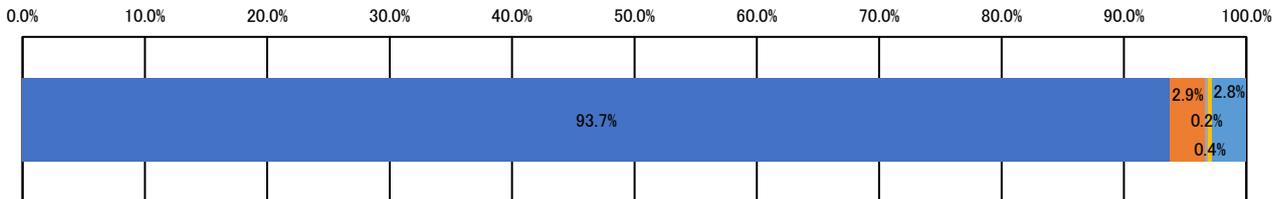
共通質問3 あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。  
(複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	かっこいい	187	0.8%
2	気持ち良くなれる気がする	1,290	5.8%
3	ダイエットに効果がある	135	0.6%
4	眠気覚ましに効果がある	208	0.9%
5	1回使うくらいであれば、心や体への害はない	171	0.8%
6	心や体に害がある	15,608	69.9%
7	犯罪に巻き込まれる	16,307	73.1%
8	使ったり、持っていたりするの悪いことだ	15,148	67.9%
9	1回でも使うと止められなくなる	15,916	71.3%
10	人に渡したり、人からもらうことも悪いことだ	14,269	63.9%
11	特にない	1,735	7.8%
12	わからない	856	3.8%
	合計	22,315	100.0%

- かっこいい
- 気持ち良くなれる気がする
- ダイエットに効果がある
- 眠気覚ましに効果がある
- 1回使うくらいであれば、心や体への害はない
- 心や体に害がある
- 犯罪に巻き込まれる
- 使ったり、持っていたりするの悪いことだ
- 1回でも使うと止められなくなる
- 人に渡したり、人からもらうことも悪いことだ
- 特にない
- わからない

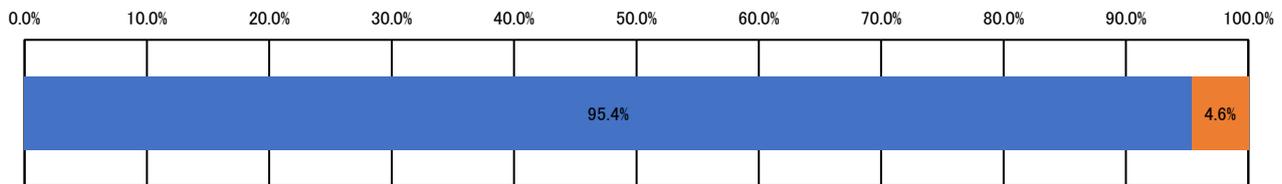
共通質問4 あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなるとお考えですか。  
(1つ選択)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	罰せられる	20,919	93.7%
2	罰せられるものもある	651	2.9%
3	1回くらいなら、罰せられることはない	42	0.2%
4	罰せられることはない	81	0.4%
5	わからない	622	2.8%
6	不明	0	0.0%
	合計	22,315	100.0%

- 罰せられる
- 罰せられるものもある
- 1回くらいなら、罰せられることはない
- 罰せられることはない
- わからない

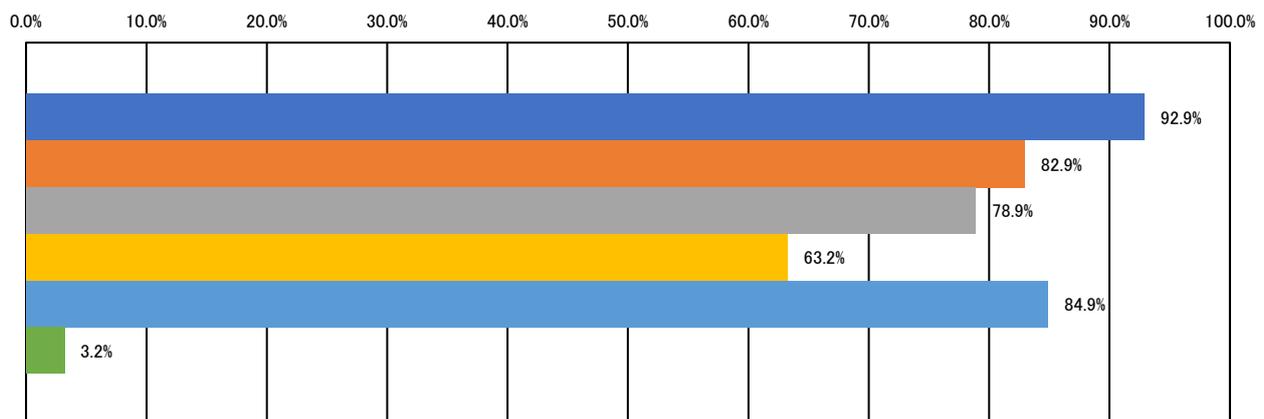
共通質問5 あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありましたか。  
(どちらかを選択)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	あった	21,286	95.4%
2	なかった	1,029	4.6%
3	不明	0	0.0%
	合計	22,315	100.0%

■あった ■なかった

共通質問6 あなたは、薬物を使った場合、以下のようになることがあるのを知っていましたか。  
(複数選択可)

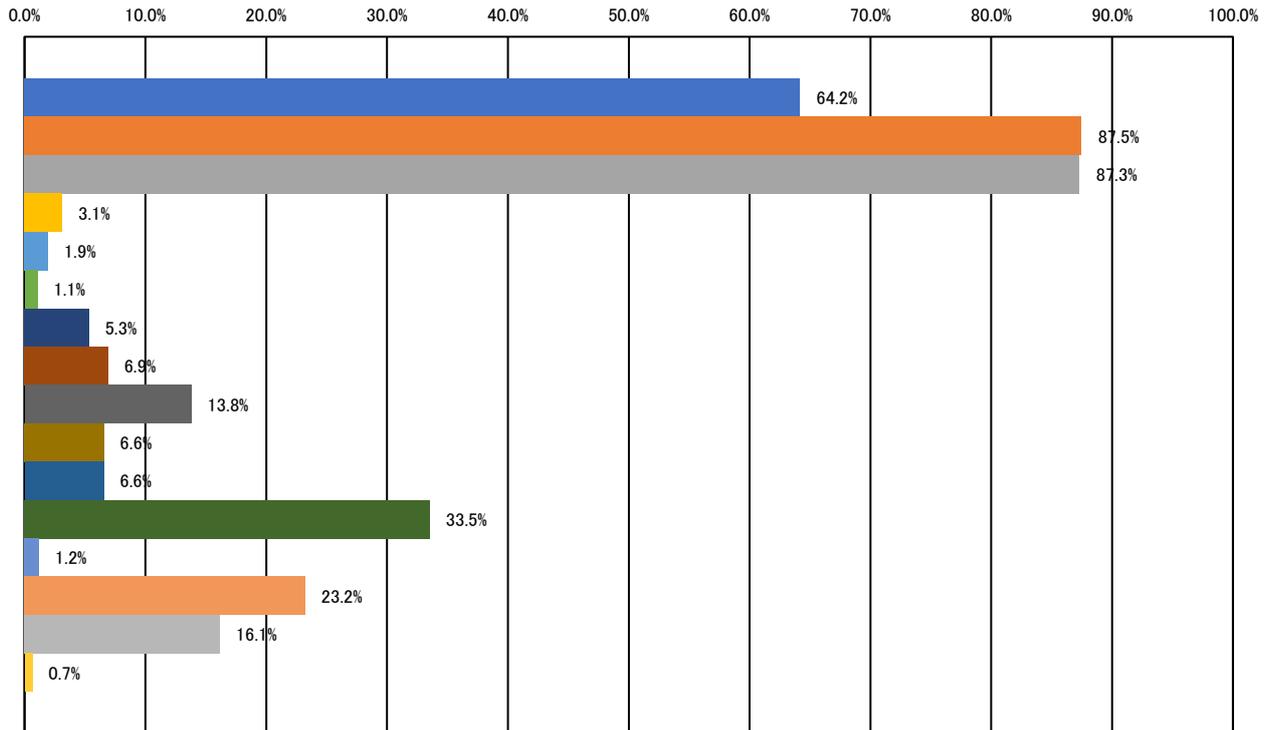


No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある	20,725	92.9%
2	わけもなく怯えたり(妄想気分)、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある	18,510	82.9%
3	自分の行動に干渉する声が聞こえる(幻聴)ことがある	17,601	78.9%
4	何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる	14,113	63.2%
5	依存性があり、意思の力ではなかなかやめることができない	18,943	84.9%
6	知らなかった	714	3.2%
	合計	22,315	100.0%

- 現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある
- わけもなく怯えたり(妄想気分)、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある
- 自分の行動に干渉する声が聞こえる(幻聴)ことがある
- 何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる
- 依存性があり、意思の力ではなかなかやめることができない
- 知らなかった

共通質問7

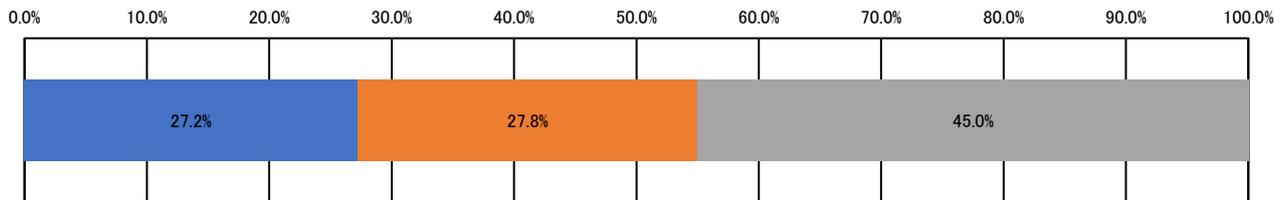
あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。  
(複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	小学校の授業	14,321	64.2%
2	中学校の授業	19,521	87.5%
3	高校の授業	19,485	87.3%
4	大学が配布しているリーフレット等	699	3.1%
5	大学での啓発ビデオ	435	1.9%
6	大学での講演会	240	1.1%
7	友達、仲間、先輩、後輩	1,190	5.3%
8	家族	1,543	6.9%
9	ポスター、パンフレット	3,079	13.8%
10	本、雑誌	1,468	6.6%
11	新聞	1,466	6.6%
12	テレビ	7,481	33.5%
13	ラジオ	267	1.2%
14	インターネット	5,181	23.2%
15	SNS	3,602	16.1%
16	その他	148	0.7%
	合計	22,315	100.0%

- 小学校の授業
- 中学校の授業
- 高校の授業
- 大学が配布しているリーフレット等
- 大学での啓発ビデオ
- 大学での講演会
- 友達、仲間、先輩、後輩
- 家族
- ポスター、パンフレット
- 本、雑誌
- 新聞
- テレビ
- ラジオ
- インターネット
- SNS
- その他

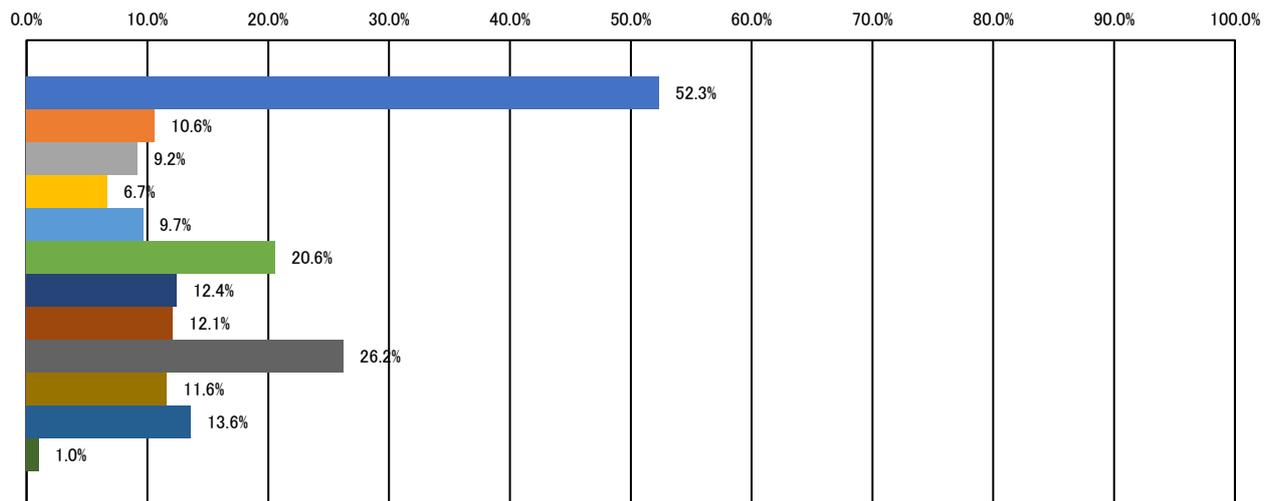
共通質問8 あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。  
(1つ選択)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	知りたい	6,076	27.2%
2	知りたいとは思わない	6,200	27.8%
3	どちらでもない	10,039	45.0%
4	不明	0	0.0%
	合計	22,315	100.0%

■ 知りたい ■ 知りたいとは思わない ■ どちらでもない

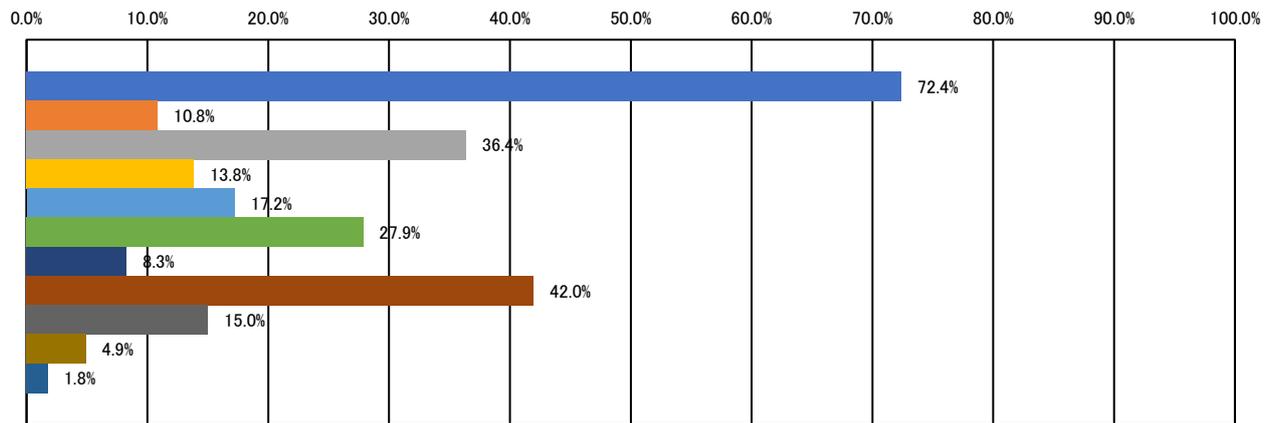
共通質問9 あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこが良いと思いますか。  
(複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	大学(講演会、ビデオ、リーフレット)	11,680	52.3%
2	家庭	2,367	10.6%
3	地域活動、自治体等の広報誌	2,052	9.2%
4	図書館、公民館	1,496	6.7%
5	保健所	2,156	9.7%
6	警察	4,593	20.6%
7	厚生労働省麻薬取締部	2,770	12.4%
8	病院	2,702	12.1%
9	インターネット	5,856	26.2%
10	講演会、座談会	2,593	11.6%
11	特にない	3,031	13.6%
12	その他	229	1.0%
	合計	22,315	100.0%

■ 大学(講演会、ビデオ、リーフレット) ■ 家庭 ■ 地域活動、自治体等の広報誌 ■ 図書館、公民館  
 ■ 保健所 ■ 警察 ■ 厚生労働省麻薬取締部 ■ 病院  
 ■ インターネット ■ 講演会、座談会 ■ 特にない ■ その他

共通質問10 あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。  
(複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	薬物が簡単に手に入るようになってきているから	16,148	72.4%
2	本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	2,415	10.8%
3	SNSやインターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	8,112	36.4%
4	社会のルールを守ろうとする意識が薄れている	3,087	13.8%
5	薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない	3,841	17.2%
6	簡単にやせられるとか、1回使っただけなら害がないなど、薬物のこわさについての誤った情報が多い	6,216	27.9%
7	薬物の害について学ぶことが少ない	1,849	8.3%
8	友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	9,364	42.0%
9	学校や家庭がおもしろくない	3,352	15.0%
10	わからない	1,095	4.9%
11	その他	393	1.8%
	合計	22,315	100.0%

- 薬物が簡単に手に入るようになってきているから
- 本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている
- SNSやインターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている
- 社会のルールを守ろうとする意識が薄れている
- 薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない
- 簡単にやせられるとか、1回使っただけなら害がないなど、薬物のこわさについての誤った情報が多い
- 薬物の害について学ぶことが少ない
- 友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる
- 学校や家庭がおもしろくない
- わからない
- その他

共通質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。  
(1つ選択)



No.	カテゴリー	件数	(全体) %
1	どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	19,879	89.1%
2	1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	215	1.0%
3	他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	1,808	8.1%
4	その他	413	1.9%
5	不明	0	0.0%
	合計	22,315	100.0%

- どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない
- 1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない
- 他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である
- その他

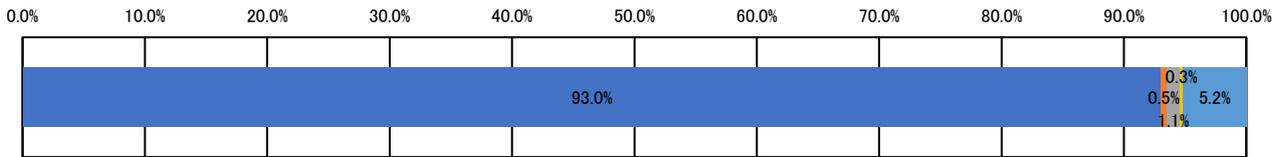
共通質問12 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	ない	19,739	88.5%
2	ある	2,576	11.5%
3	不明	0	0.0%
	合計	22,315	100.0%

■ ない ■ ある

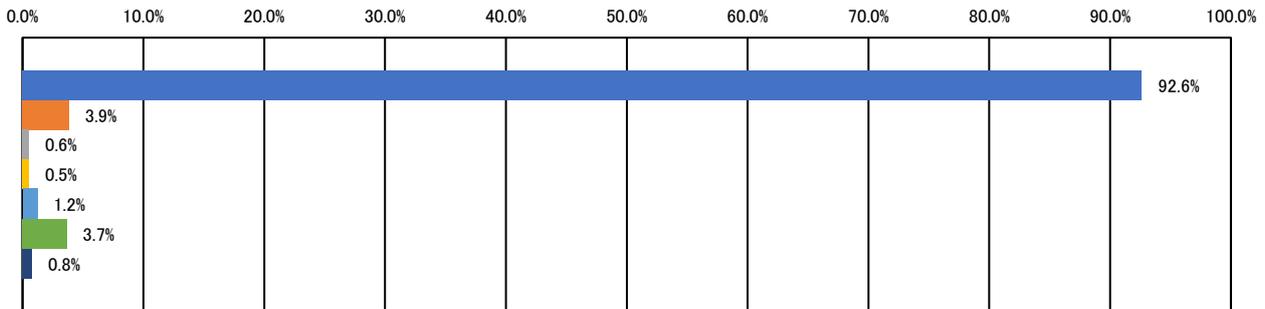
共通質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。  
(1つ選択)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	誘われたり、勧められたことはない	20,760	93.0%
2	購入を勧められたことがある	104	0.5%
3	使用を誘われたことがある	239	1.1%
4	無理やり使われたことがある	58	0.3%
5	わからない	1,154	5.2%
6	不明	0	0.0%
	合計	22,315	100.0%

■ 誘われたり、勧められたことはない ■ 購入を勧められたことがある ■ 使用を誘われたことがある ■ 無理やり使われたことがある ■ わからない

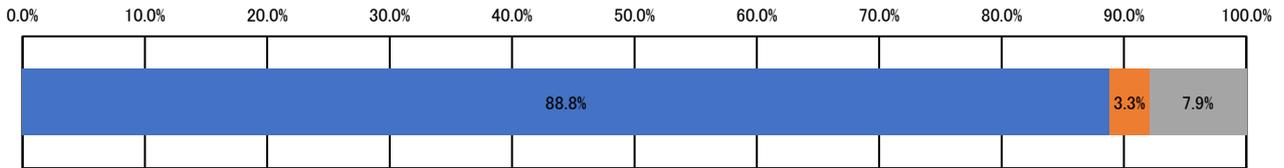
共通質問14 あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。  
(複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	誘った相手が誰であろうと、断る	20,671	92.6%
2	誘った相手によっては、断りきれないかもしれない	860	3.9%
3	一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない	124	0.6%
4	好奇心や面白半分から断らないかもしれない	122	0.5%
5	悩み事があったり、疲れていたりしたら断らないかもしれない	276	1.2%
6	わからない	817	3.7%
7	その他	182	0.8%
	合計	22,315	100.0%

■ 誘った相手が誰であろうと、断る ■ 誘った相手によっては、断りきれないかもしれない  
 ■ 一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない ■ 好奇心や面白半分から断らないかもしれない  
 ■ 悩み事があったり、疲れていたりしたら断らないかもしれない ■ わからない  
 ■ その他

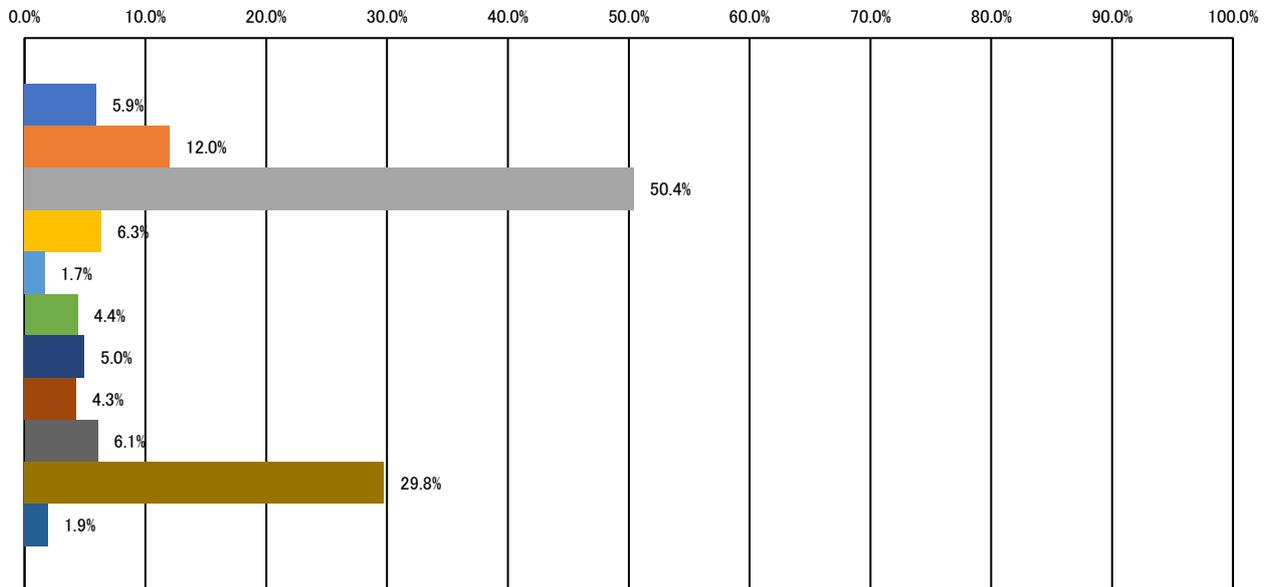
共通質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。  
(1つ選択)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	いない	19,819	88.8%
2	いる(いた)	726	3.3%
3	わからない	1,770	7.9%
4	不明	0	0.0%
	合計	22,315	100.0%

■ いない ■ いる(いた) ■ わからない

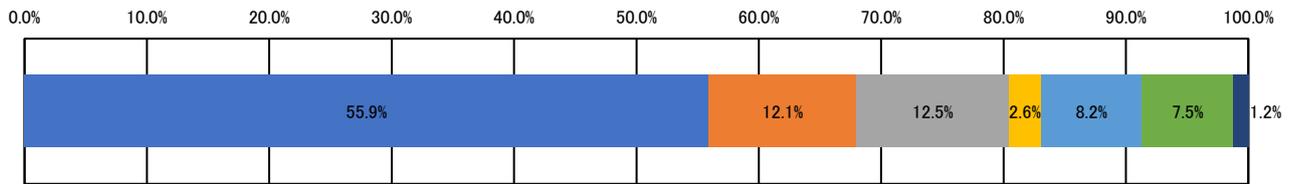
【前の質問で「2 いる(いた)」を選択した人だけお答えください】  
共通質問15(イ) どの薬物でしたか。  
(複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	43	5.9%
2	覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	87	12.0%
3	大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)	366	50.4%
4	コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	46	6.3%
5	あへん類(ヘロインなど)	12	1.7%
6	LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	32	4.4%
7	MDMA(エクスタシーなど)	36	5.0%
8	いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど)	31	4.3%
9	大麻入り食品(大麻グミなど)	44	6.1%
10	わからない	216	29.8%
11	未回答	14	1.9%
	合計	726	100.0%

■ 有機溶剤(シンナー、トルエンなど) ■ 覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど) ■ 大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシュシュなど)  
 ■ コカイン(コーク、スノウ、クラックなど) ■ あへん類(ヘロインなど) ■ LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)  
 ■ MDMA(エクスタシーなど) ■ いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブなど) ■ 大麻入り食品(大麻グミなど)  
 ■ わからない ■ 未回答

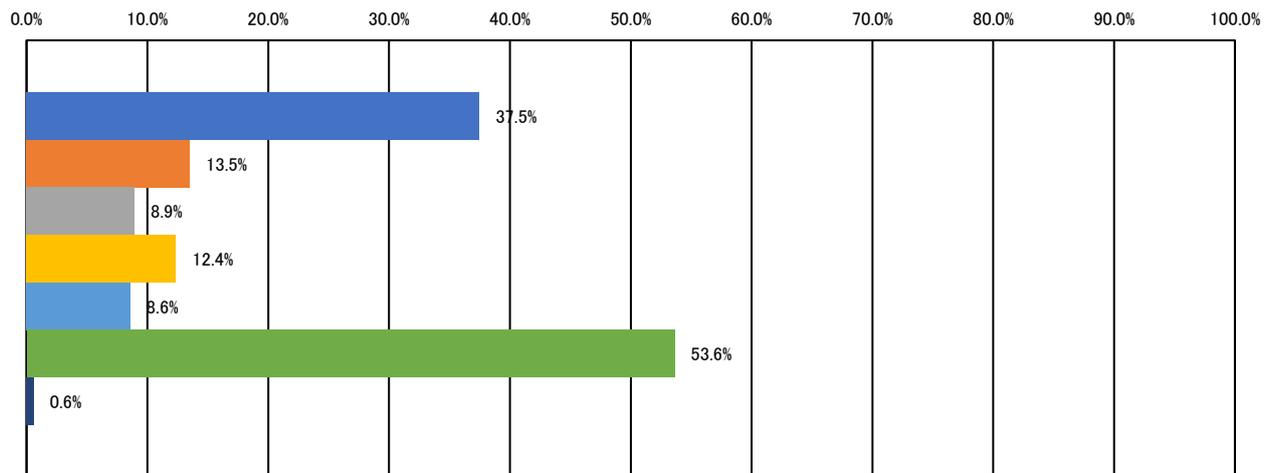
共通質問16 あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。  
(1つ選択)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	使用をやめるよう説得する	12,475	55.9%
2	他の人(先生や友人など)に伝える	2,690	12.1%
3	警察に通報する	2,788	12.5%
4	医療機関や保健所等に連絡する	580	2.6%
5	個人の自由であるので放っておく	1,839	8.2%
6	わからない	1,672	7.5%
7	その他	271	1.2%
8	不明	0	0.0%
	合計	22,315	100.0%

- 使用をやめるよう説得する      ■ 他の人(先生や友人など)に伝える      ■ 警察に通報する      ■ 医療機関や保健所等に連絡する
- 個人の自由であるので放っておく      ■ わからない      ■ その他

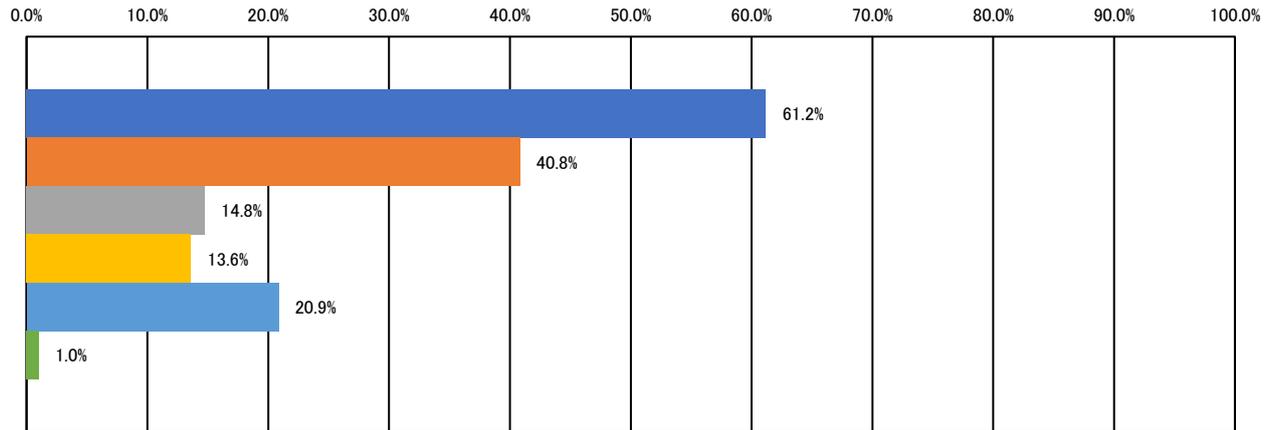
共通質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。  
(複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	警察の相談窓口	8,362	37.5%
2	行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)	3,016	13.5%
3	厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	1,996	8.9%
4	医療機関の相談窓口	2,761	12.4%
5	民間の支援団体の相談窓口	1,920	8.6%
6	知らない	11,967	53.6%
7	その他	134	0.6%
	合計	22,315	100.0%

- 警察の相談窓口      ■ 行政機関の相談窓口(精神保健福祉センター等)
- 厚生労働省麻薬取締部の相談窓口      ■ 医療機関の相談窓口
- 民間の支援団体の相談窓口      ■ 知らない
- その他

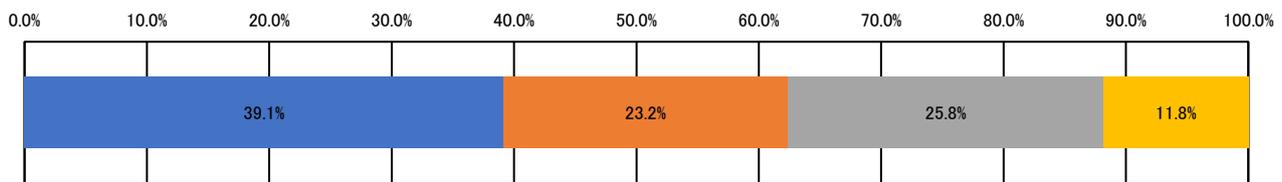
共通質問18 あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何ですか。  
(複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	薬物乱用による健康被害情報	13,657	61.2%
2	薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	9,113	40.8%
3	国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	3,293	14.8%
4	医療機関や民間支援団体の取り組み情報	3,039	13.6%
5	特にない	4,657	20.9%
6	その他	232	1.0%
	合計	22,315	100.0%

- 薬物乱用による健康被害情報
- 薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報
- 国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報
- 医療機関や民間支援団体の取り組み情報
- 特にない
- その他

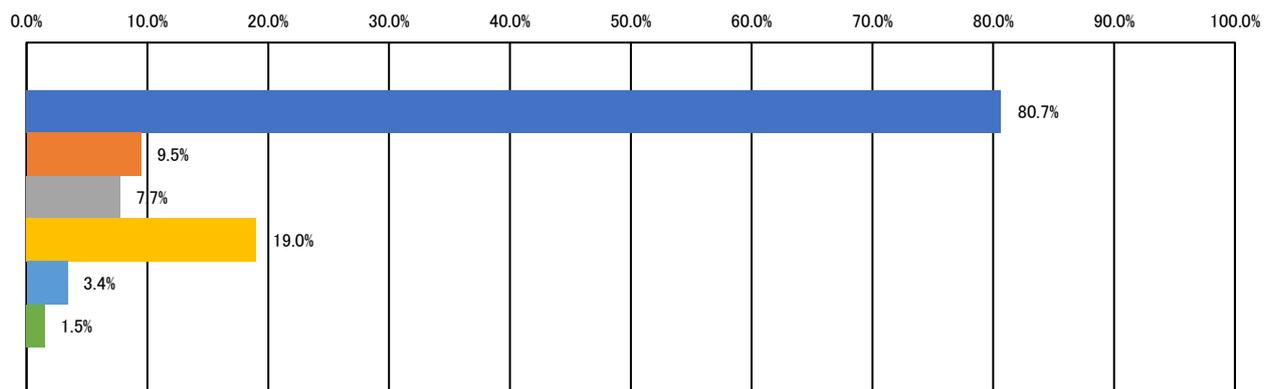
共通質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。  
(1つ選択)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	不可能だ	8,734	39.1%
2	かなり難しい	5,183	23.2%
3	難しいが手に入る	5,755	25.8%
4	手に入る	2,643	11.8%
5	不明	0	0.0%
	合計	22,315	100.0%

■ 不可能だ ■ かなり難しい ■ 難しいが手に入る ■ 手に入る

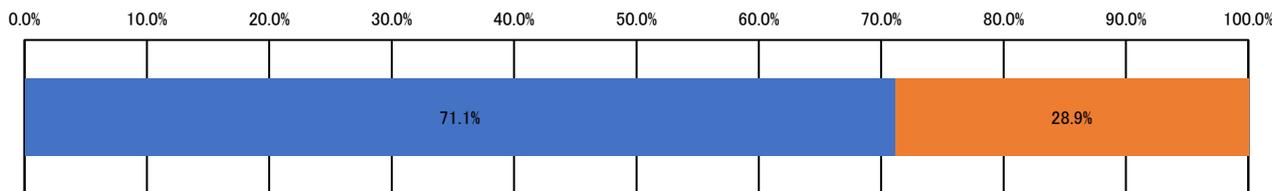
【前の質問で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」を選択した人だけお答えください】  
共通質問19(イ) 入手可能と考えた理由は何ですか。  
(複数選択可)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから	6,774	80.7%
2	SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから	795	9.5%
3	友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから	649	7.7%
4	繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから	1,598	19.0%
5	それ以外	285	3.4%
6	未回答	126	1.5%
	合計	8,398	100.0%

■ SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから ■ SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから  
■ 友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから ■ 繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから  
■ それ以外 ■ 未回答

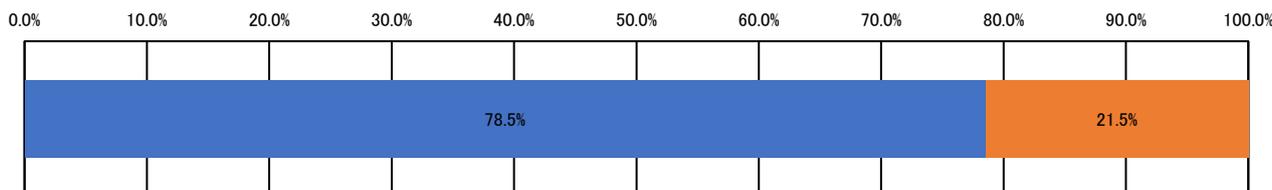
共通質問20 あなたは、医薬品医療機器等法により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合法アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になっていることを知っていますか。  
(1つ選択)



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	知っている	15,873	71.1%
2	知らなかった	6,442	28.9%
3	不明	0	0.0%
	合計	22,315	100.0%

■ 知っている ■ 知らなかった

共通質問21 あなたは、「市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)」が社会問題になっていることを知っていますか。  
(1つ選択)  
「市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)」とは、市販薬(かぜ薬・解熱剤・鎮痛剤・睡眠薬など)を定められた用法・用量以上に服用する(過剰摂取する)ことで、薬物への依存が高まるだけでなく、内臓機能障害や最悪の場合は心肺停止で死亡するケースもある、薬物乱用の一種です。



No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	知っている	17,518	78.5%
2	知らなかった	4,797	21.5%
3	不明	0	0.0%
	合計	22,315	100.0%

■ 知っている ■ 知らなかった